

刈り払い機を使って安全に草刈をするために

令和6年度
自治区向け草刈り講習会資料
令和6年5月
豊田市福祉センター会議室
緑化相談員 鈴木金幸

1 草刈作業中の死亡事故事例

(1) 2021. 11(愛知県新城市)

地域住民30名が参加して土手の草刈り作業中、振った刈り払い機が隣で草を集めていた69歳男性の太腿に刃が当たり、外傷性ショックで死亡

(2) 2023. 11(大分県大分市)

親族5名で空き地の草刈作業中、20代男性が使っていた刈り払い機の刃が84代男性の首に当たって、出血性ショックで死亡

(3) 2023. 11(熊本県水俣市)

83歳女性が自宅庭で両足ふくらはぎから血を流して倒れているのを発見し病院に搬送したが、一時間後に死亡（一人で刈り払い機を使って草刈り）

(4) 2023. 9(愛知県豊橋市)

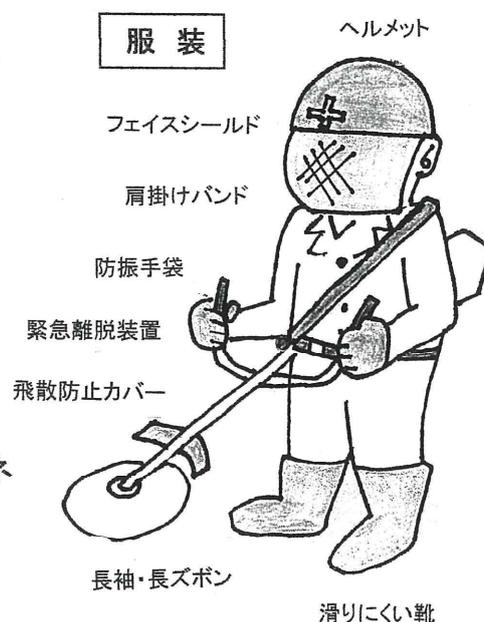
豊橋市から委託を受けた現場で、4人が2人一組で池周辺の草刈り作業中に、刈り払い機を使用していた作業員の機械のふり幅が大きかったために、近くにいた69歳の男性の左太ももに刃が接触して外傷性ショックで死亡

2 安全に作業するためには

※ 刈り払い機は危険な道具であることを作業員全員が認識しましょう

(1) 服装など(安全の第一は服装である)

- ア 作業衣は袖締まりのよい長袖の上衣と裾締まりのよい長ズボンを着用する
- イ 履物は現場に適したもので、滑りにくいものを着用する(スパイク付きなど)
- ウ 必ず規格にあった保護防(ヘルメット)を着用する
- エ 振動障害防止のために防振手袋を着用する
- オ 飛び石から目や顔を守るために防護メガネまたはフェイスシールドを着用する



カ 緊急時用に呼子を携行する

※ 刈り払い機を使用しない者も作業現場に入って作業する時はヘルメット
長袖・長ズボンで現場に適した履物着用する

(2) 作業着手前の準備

ア 作業を指揮する者を事前に決めておいてください

※ 指揮者作業に加わらずに、常に全体作業を監視し危険が認められたら直ぐに作業を中止させてください

イ 作業参加者全員に、作業の段取りと役割分担を明確に伝える

ウ 作業範囲内に危険物などが無いか確認し、事前に撤去しておく

※ 空き缶や空き瓶・針金やビニール紐・境界杭や側溝など

※ 危険のある障害物がある場合は、旗などの目印を立てておく

エ 作業エリアは第三者が立ち入らないように、三角コーンを設置する

(3) 刈り払い機の選定

ア 作業現場に適した機種を選択して、安全に作業が出来るよう努める

● 刈り払い機の種類

○Uハンドルタイプ・・・一般的に多く出回っており平坦な箇所を刈るタイプ

○ツェーグリップタイプ・・・傾斜地や土手の法面を刈るタイプ

※ 使用する刈り払い機の排気量を確認してください

イ 安全に刈り払いができるよう現場に適した刈刃を装着してください

● 刈り払い機の刃の種類

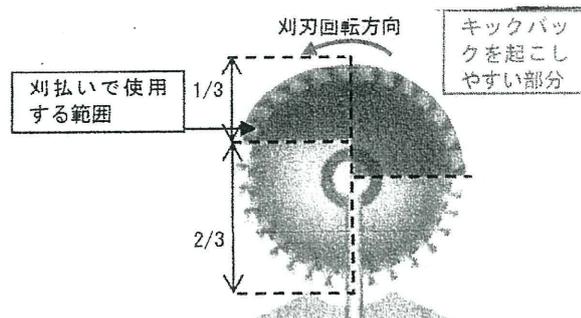
○チップソー・・・一般的に多く出回っているタイプの刃であるが、硬質のチップが先端に埋め込まれているため、一旦使い方を誤ると大怪我になる危険性がある

○ナイロン・・・障害物の多い場所などで使用されるが、高速回転で草を
カッター たたき切るため、刈った草や石が四方八方に飛散する危険性がある

○飛び石軽減用・・・特殊な刃の構造により、飛び石を軽減できる
アタッチメント



高刈り用アタッチメント



(4) 作業の手順

ア 刈り払い機の使用者は、刈り払い機取り扱い安全衛生教育修了者が望ましい

イ 狭い作業場所では、複数台の刈り払い機は使用しない

※作業者同士は、近接作業にならないよう常に15mの間隔を保つこと

ウ 急傾斜地では、上下並んだ作業にならないように注意する

エ 草の刈り幅は、1.5mを標準とする

オ 飛び石の危険性がある箇所では、必ず飛び石防止用ネットを使用する

※ ベニヤ板は跳ね返りがあるので危険

カ 刈り払い機は、右から左に刈刃を移動させて草を刈る。左から右に向かったの往復刈りはしない

キ 刈り払い機操作中は、刃元に集中せず周囲の安全確認を怠らないこと

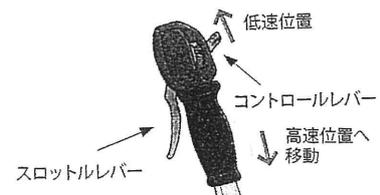
※ 車や人が近づいたら必ずエンジンの回転を停止させる

ク 飛び石の危険性がある場所では石を飛ばさないよう高刈り(3cm程度)するようにすると良い

※ 高刈用の補助具(安定板)の販売あり

ケ キックバックに注意

(往復刈りはキックバックの危険性あり)



コ 刈り払い機は、草を刈る機械であって、土を切る機械ではない

サ 刈り払い機使用者に合図を送る場合には、呼子などで合図を送る。後ろから近づいて肩をたたく等の行為は危険である

シ 刈り払い機を体にセットする場合は緊急脱着装置の付いた肩掛けバンドを着用すること

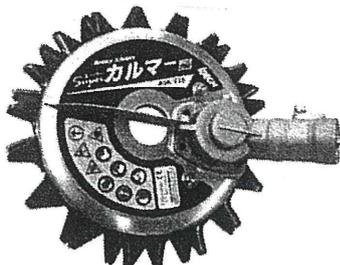
ス 刈り払い機は、緊急時に手を離せば回転が低速になる、トリガー式スロットルを装備したものを使用する

セ 飛散防止カバーは所定の位置からずらして使用しない

※ 刈り払い機使用者に石があたる

ソ 刈刃には230mmと255mmがあります。使用する機種種の排気量に合った物を使用してください

- 排気量25cc以下は230mm
- 排気量25cc以上は255mm



上下の刃が逆回転し挟んで切る



上下の刃がスライドし挟んで切る

3 刈り払い機による石の飛散距離

刃の種類	飛距離	飛散速度	
4枚刃	67.8m	130km/h	
8枚刃	30.2m	76km/h	
チップソー	今回の条件では飛散せず		
ナイロンカッター	16.9m	48km/h	

●刈刃に接触させた石の径約20～30mm

※独立行政法人国民生活センター調べ

※ 何故石が飛ぶのかどんな石が危険か、方向は

- (1) 回転する刃が地面に接触したとき
- (2) 往復で刃が地面に接触すれば360°の方向に飛びますが、右から左に向かって正しい刈り方をした場合は左方向に飛びます
- (3) チップソーで最も遠くへ飛びガラス等が割れる原因になる石の直径は、刈刃の先端の刃と刃の間に入りやすい 5mm前後～1cm程度



通常のチップソー(刃の間隔が1cm程度)



飛び石軽減チップソー(刃の段差が3mm程度)

4 その他

- (1) 刈り払い機の一連続操作時間は、概ね30分以内とし一連続作業の後5分以上の休憩時間を設けてください

※振動業務の作業時間は一日2時間以内とされています

- (2) 事故発生時に速やかに対応できるよう緊急時の連絡体制を整えておく
- (3) 夏場の熱中症対策
- (4) 6月～10月までの蜂対策

● 刈り払い機を使用した草刈り作業は、自治会のボランティア作業として妥当か

● 加入している保険の内容を参加者全員が共有してください